

ニーズ型企画提案プログラム（職場体験連携型）

ニーズ型企画提案プログラムの詳細

ニーズ型企画提案プログラムは、基本的に企画提案活動プログラムと同じですが、職場体験活動と組み合わせて職場体験先のニーズに見合う企画提案を実践する点が特徴になります。プログラムの構成としては、発表会（情報共有）、ケースメソッド授業、企画提案の学習（ニーズのヒアリング、調査、アイデアの創出、企画提案書の作成、発表会など）で、これらを通して企画提案活動がより実社会のビジネスで行われるものに近づき、次の展開である製造販売体験活動へ直接繋がりのある学習をします。

授業の流れ

1. 外部講師による講演

起業家を外部講師として招き、起業するために大事なことや起業して大変だったことなどの話を聞きます。



2. 企画提案に必要な基礎学習、ケースメソッド授業

企画提案書作成に必要なアイデア創出、商品企画、マーケティング、経営戦略、事業計画、プレゼンテーション等の基礎的な事項を学ぶとともに、ケース教材（実際の企業での事例）を使って、議論をしながら企業経営に関する知識を深めていきます。



3. 企画提案の学習

(ヒアリング)

企業（職場体験先等）のニーズをヒアリングします。

(調査)

企業の抱えている課題を解決するための企画をインターネットや本を使って調査し、参考にします。

(アイデアの創出)

企業のニーズに合うアイデアを創出し、企画提案の内容をまとめます。

(中間発表、アイデアの磨き直し)

コース毎に中間発表を行い、各グループの進捗状況などを確認します。また、他のグループの発表内容を聞き、参考になる部分を使ってアイデアを磨きなおします。



(企画提案書の作成)

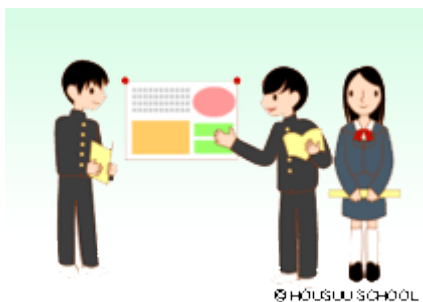
企画提案書とそのプレゼンテーション用資料（商品試作も含む）を完成させます。



© HOUJUU SCHOOL

4. 発表会、企画提案書の掲示

コース毎に発表会を行います。また、作成した各企画提案書は全体に掲示し、共有します。



© HOUJUU SCHOOL

5. 企業への企画内容（改善内容）の提案

企業を訪問し、企画提案（改善提案）を行います（試作商品も含みます）。



© HOUJUU SCHOOL